

サッカーを楽しむもう一

60歳代男性とママさんチーム

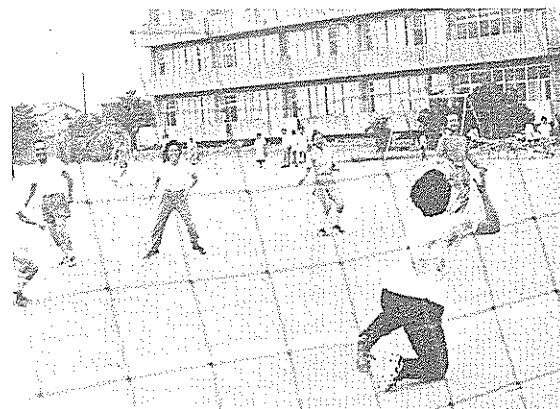
年齢や男女の別に関係なくサッカーを楽しむ暑い夏を乗り切ろうと八月十日、大篠小グラウンドで六十歳代の男性チームとママさんチームの交歓試合が行われました。対戦したのは高知サッカーOB会の六十歳代チーム（会長、福井健造高知高専教授）と大篠ママさん

ンサッカーチーム（櫻尾洋子主宰）。六十歳代チームの結成は、今年の五月に春野町で西日本OBサッカー大会が開かれたのがきっかけ。メンバーは十六人で、農業を営む人、公務員など職業はいろいろですが、みんなサッカーが好きで、鈴江広幸教育長ら大半が学生時代

の経験者。「みんな忙しく、また市外に住んでいるメンバーもいるので、なかなか練習できません」とのこと。一方の大篠ママさんチームは昨年十一月の結成。二十四歳から四十四歳までの、若さいっぱいチーム。大篠少年サッカースクールで練習する子供の応援や手伝いをしていうちに「自分たちもやってみよう」と始めました。午後六時、ママさんチームのキックオフで試合開始、と同時に鮮やかな速攻で、ママさんチームが

楽しく勉強しました。

先取点。その後も再三、相手陣営に攻めこみましたが後一歩及ばず、キック力、技術に勝る六十歳代チームが3対2で勝ちました。六十歳代チームは「いい汗をかきました。相手チームは若いし、よく動きますね」一方ママさんチームは「さすが昔取ったきねづか、強かったです」とさわやか。子供たちの盛んな拍手に迎えられ、両チームとも十分にサッカーを楽しみました。



熱戦を展開したサッカー試合——ゴール前の攻防

親子でクッキング

～～食習慣は子供のときに～～

母と子が調理を通じて食事の大切さを学ぼう——と八月二十三日、大篠地区公民館で「母と子のクッキング教室」（県、市教育委員会主催）が開かれました。

県下各市町村で開かれています。南園市は今回が初めて。参加者は小学生の親子ら二十組。まず、中央保健所の栄養士さんから、学童期の食生活の注意点についてのお話。調理実習では、おむすび、スタッフドトマト、とうもろこしのスープなど、三角布をかぶったかわいい子どもたちとお母さんが協力して調理。試食しながら「うーん、おいしい」と、子供たちも自分の作った料理に満足げでした。午後からは、お服もいっぱいになったところで、ゲーム遊びをし、楽しい歓声があがっていました。そして最後は、南国酒防署のおじさんに、人口呼吸の仕方なども習い、一日中親子で



お母さんに協力して、楽しくクッキング

山本尚一氏逝去



南国市広報委員長の山本尚一氏（七十歳）は、病氣療養中のところ八月九日逝去されました。故山本氏（医学博士）は、旧

長岡村当時から広報委員長として、長年広報活動に尽力。その功績により昭和四十年に、日本広報協会から広報功労者として全国表彰。また、昭和四十年「市献血推進協議会」発足以来会長を務め「市民の血液は、市民の献血で」と、献血運動の推進に力を注ぎ、昭和五十四年には日本顕彰会の表彰も受けられました。ここに功績の一端を紹介し、謹んでご冥福を祈ります。